

# 京都府立医科大学附属 北部医療センター(与謝の海病院)NEWS

平成28年1月  
Vol.8

《病院理念》信頼される全人的医療

《基本方針》

- 患者さんが中心の安心安全な医療を提供します
- 患者さんと医療従事者のコミュニケーションを大切にします
- 個人情報保護に努めます
- 専門性と総合性をもつ診療を行います
- 地域に開かれた病院として貢献します
- 全人的医療が行える医療人を育てます
- 地域の特性を活かした研究を推進します



## 新年のごあいさつ

京都府立医科大学附属北部医療センター  
病院長 中川正法



新年、明けましておめでとうございます。

京都府立医科大学附属北部医療センターになって3回目の新年を迎えました。

北部医療センターは患者さんを中心とする全人的医療を目指して職員全員が一丸となって取り組んでおります。昨年は、産婦人科病棟に新たな出産設備(LDR)を開設し、医療相談機能の充実、がん相談機能の充実、結核病棟の改修、認知症疾患医療センターの積極的運営、救急診療機能の拡充などを行って参りました。教育・研究面では、北部の全公的病院が連携して最新医療機器の合同研修・カンファレンスを実施し、丹後地域を対象に健康長寿コホート研究を展開するなど、大学附属病院として教育・研究にも力を入れて来ました。

施設の老朽化に伴う様々な課題もあり、皆様にはご不便をおかけしております。特にご迷惑をおかけしております外来駐車場の拡充整備を早急に行う予定です。今年も診療設備の充実、専門性と総合性を備えた医療サービスの提供などを通じて、皆様に愛される地域中核病院として更なる飛躍を目指したいと考えております。

当院の丹後医療圏は、高齢化率35%前後でありわが国の超高齢社会を先取りしている地域です。丹後の特徴である“豊かな自然、豊かな人間性、長寿社会、緊密な組織間の連携”を活かして、心豊かに安心・安全に暮らせる地域社会を日本の未来を先取りする形で実現するために少しでも貢献したいと考えています。

今年申年は申年生まれは快活で好奇心旺盛でかつ家族が肩を寄せ合って過ごす方が多いようです。平成28年が皆様にとって、笑顔多き年となることを心より祈念しております。今年もよろしくお願ひ申し上げます。

平成28年 元旦

### 【第8号の内容】

- 1ページ ● 新年のごあいさつ…中川正法病院長
- 2ページ ● LDRルームの紹介 ● ナースのお仕事 3…中村明美緩和ケア認定看護師
- 3ページ ● 禁煙外来…岩崎吉伸教授 ● 消防訓練 ● 原子力総合防災訓練
- 4ページ ● 診察室「耳鼻咽喉科」…信原健二医長 ● 診療科紹介「外来化学療法室」…問山大輔医長
- 5ページ ● 病院からのお知らせ ● 救急室からのお願ひ
- 6ページ ● 外来各科診察担当医表 ● 医師異動情報 ● 職員募集



〒629-2261  
京都府与謝郡与謝野町字男山481  
電話/FAX 0772-46-3371 (代表)  
<http://nmc.kpu-m.ac.jp/>

## LDRルーム紹介

2015年11月20日、B3病棟に、「安心・安全なお産」をコンセプトに新たなLDRルームが完成しました。

LDRルームとは、陣痛(Labor)、分娩(Delivery)、回復(Recovery)の略語で、これらの時期をゆったりとご自宅の雰囲気でご過ごしていただくお部屋のことです。窓からは天橋立が観え、リラックスできる環境も整っています。

コンセプトのひとつ「安全面」では、室内に専用医療機器の収納スペースを確保すると共に、ナースステーションを中心に、NICU・LDRルーム・新生児室があり、各部屋と円滑に連携、より迅速に緊急対応できるようになりました。

今後も安心・安全なお産をモットーに、産婦人科・小児科医師、助産師がチーム一丸となり対応させていただきます。ぜひ、北部医療センターでのお産をお待ちしております。



明るく開放的なLDR



新生児室などを一体整備

## アドバンス助産師 3名 誕生

2015年8月から開始された助産実践能力習熟段階認証制度は、助産実践能力が一定の水準に達している事を審査、認証する制度です。具体的には助産業務に従事しているなかで、社会の要請に応じた能力に対応する経験と必要な研修などを受講している。助産に関する知識技術がブラッシュアップできているかなどを確認され、妊産褥婦やその家族をはじめとする社会の人々に、専門職としての説明責任を果たし、助産実践の質の向上に貢献することができます。

認証された助産師は、「自律して助産ケアを提供できる助産師」として、アドバンス助産師と呼ばれます。

**2015年 アドバンス助産師** 認証者、金久一美助産師・平尾明子助産師・小田晴子助産師の3名。

## ナースのお仕事 3

### — 中村 明美

緩和ケア認定看護師 —



今回から認定看護師を紹介します。

〔なかむら あけみ：平成6年から当院勤務〕

#### 質問1：専門分野とその役割は？

**中村：**私の専門分野は、緩和ケア認定看護師です。緩和ケアを受ける患者さんやご家族のつらさを理解して、つらさを軽減できる方法を考えサポートしていきます。又、指導や相談も行います。

#### 質問2：認定看護師を目指す事になったきっかけは？

**中村：**患者さんのつらさを緩和するためには、身体面・精神面・社会面を理解した上での関わりが必要であると強く感じ、さらに専門的に学びたいと考えたため、認定看護師になろうと思いました。

#### 質問3：看護師として日々心がけていること

**中村：**身体面はもちろんですが、患者さんの心のつらさも理解できるように、一つ一つの言葉を大切に聴くようにしています。又、患者さんだけでなくご家族の話も聴き、ご家族も含めた関わりを大切にしています。

#### 質問4：その他

**中村：**当院には、がん相談支援センター、緩和ケアチームがあります。そこでは、身体のつらさだけでなく、療養の選択や心のつらさなどにも対応し相談にのります。是非お声をおかけください。チームで、患者さんやご家族をサポートしていきます。

## 禁煙外来ははじめました

呼吸器内科教授 岩崎 吉伸

身体に良くないとわかっていて、なかなかやめられないのがタバコです。タバコには多くの有害物質が含まれ、その数なんと250種類以上と言われ、その中には、発がん物質もたくさん含まれています。タバコにより惹き起こされる疾患は、ざっと挙げてみても肺がん、慢性閉塞性肺疾患（肺気腫）、心筋梗塞、脳卒中、糖尿病などがあり、そのためおよそ10年寿命が短くなることがわかっています。

タバコがやめられないのは、ニコチンによる依存症のためです。タバコを吸うと煙に含まれるニコチンが肺から血管内に吸収され、血液に乗って脳にまで達します。脳の神経細胞はニコチンと結合するとドパミンと言う快樂物質を放出します。ドパミンが放出されると心地よくなりますが、タバコを吸って数十秒でこの感覚が得られ、そのため習慣性があります。タバコ依存のこのような仕組みから、禁煙のための薬がいくつか開発され、ずっと楽に禁煙できるようになっています。

タバコをやめたいが、うまくいかないとか、どうしたらいいのかよく分からないと思っている方は、ぜひ、禁煙外来を利用して、禁煙を成功させてください。私たちが、お手伝いします。



## 平成27年度 消防訓練

平成27年10月21日（水）、今年度第1回目の消防訓練を実施しました。当日は、宮津与謝消防組合消防本部から講師をお招きし、「火災予防と発生時の的確な対応及び留意事項」と題し講話を受けた後、サービス棟周辺に会場を移し屋内消火栓の取扱訓練と実放水及び消火器を使用した取扱訓練を実施しました。万が一に備え参加した医療スタッフは、真剣に放水等の訓練に取り組みました。



屋内消火栓の放水訓練

## 平成27年度 京都府原子力総合防災訓練 (緊急被ばく医療訓練)



被ばく患者受入訓練

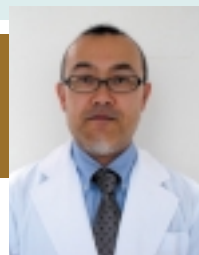
平成27年11月28日（土）、京都府原子力総合防災訓練の一環として当センターを会場に緊急被ばく医療訓練が実施され、府内10医療機関から約50名の参加により訓練を行いました。

当日は、高度被ばく医療支援センターである広島大学の専門家の指導・助言を受け初期被ばく医療機関が行う、被ばく患者の受入準備、防護服の着用方法や室内・機器等の養生、搬送されてきた被ばく患者（傷病者）の医療措置を学びました。

診察室

「花粉症・アレルギー性鼻炎」

耳鼻咽喉科 医師 信原健二



寒い季節がやってきましたが、風邪などひかすにお過ごしでしょうか。さて、2月になると今年もまた花粉症の季節がやってきます。統計によると、京都府の人口の32.8%がスギ花粉症、23.7%が通年性アレルギー性鼻炎と言われ、その罹患者数は年々増加傾向にあります。昨年の京都府の花



粉飛散開始は2月22日、飛散数は例年よりも少なめでしたが、今年のスギ花粉も昨年並みに少なめであることが予想されています。花粉症の治療はマスクなどでの抗原回避、薬物療法、手術療法が一般的ですが、いずれも症状

を軽減することはできても治すことはできません。それに対して免疫療法は唯一アレルギー性鼻炎を治すことができる可能性のある治療法として、再び注目され始めています。今までの免疫療法は何度も通院して定期的な注射が必要でしたが、2014年秋から注射を必要とせず、口の中から投与する新しいスギアレルギー薬が承認され、使えるようになりました。また、2015年秋からは通年性アレルギー性鼻炎の原因の多くを占めるダニアレルギー薬も承認され、毎年薬が欠かせない方、また一年中薬を必要とする方にとっては朗報と言えるでしょう。花粉症やアレルギー性鼻炎でお悩みの方は是非一度耳鼻咽喉科で相談してみてください。



診療科紹介

— 外来化学療法室 —

室長 問山 大輔 医師・がん化学療法認定看護師 堀 弥生

皆さんは抗がん剤治療と聞くと、どのようなイメージをお持ちでしょうか？。20年以上も前の時代だと、抗がん剤治療といえば何週間も入院が必要でした。また、長期入院の抗がん剤治療の点滴の間は「吐き気・おう吐・しんどさなど」でご飯もろくに食べられないこともありました。仕事も長期に休まないといけなくなり治療を受けられる患者さんにとっては辛いイメージしかなかったと思います。しかし、最近は全く違う治療に進化し、新しい抗がん剤が数多く開発され、副作用の軽減と共に、その投与方法も大きく様変わりしました。何より「吐き気・おう吐など」を抑える新しい薬剤の開発が抗がん剤治療の内容を大きく変えたと言っても良いくらいです。外来化学療法室とは、そのような時代の流れに合わせた「外来通院での日帰り抗がん剤治療を行う専用の空間」として新たに設置されるようになった場所のことです。そこでは抗がん剤治療に熟知している看護師や薬剤師、主治医の連携プレーで今まで通りの生活を送りながら安心・安全な抗がん剤治療ができるようになってきています（注：がんの種類などにより入院が必要な場合があります）。

当院でも外来通院での抗がん剤治療は以前より行っていました。27年4月に外来化学療法室を整備、稼働しました。現在は「がん」が見つかって手術・抗がん剤・放射線療法の組み合わせなどでしっかりと治療することが可能です。「化学療法委員会」を中心に各科の医師と相談を重ね最新の治療方法を取り入れた外来化学療法・入院化学療法のメニューを提供しております。主治医から「抗がん剤の点滴をしましょう」と言われた時には、皆さんの生活スタイルに合わせた治療方法が選択可能ですので相談をしてみてください。



専用のリクライニングベッドを配置

# 病院からのお知らせ

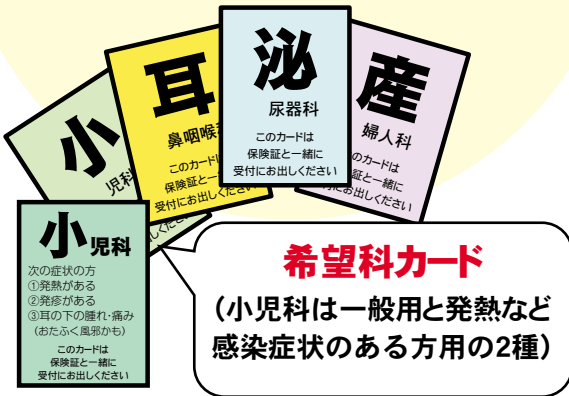
患者さんへのサービス向上に努めています!

## 10月から外来の受付方法を一部変更

### 4科の待ち時間を短縮しました

産婦人科・小児科・耳鼻咽喉科・泌尿器科の新患の方は、当日予約を受付窓口で行っています。問診コーナーを通らないため、待ち時間が短くなりました。(併診希望の方など一部の例外は除きます)

4科を受診される方は、受付カウンターにある診察希望科のカードを取り、診察券・保険証と一緒に受付窓口にお出しください。

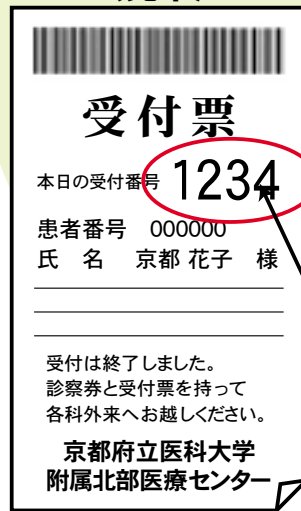


### プライバシーに配慮しました

外来の各診察科や会計などでは、今までは患者さんのお名前でお呼び出ししていました。

しかし、患者さんの中には「名前の呼出しで、知人に気付かれた」「通院をあまり知られたくない」などのお声もあることから、プライバシーを優先に考え、「受付番号」でお呼び出すことにしました。

#### 〈見本〉



この番号で呼び出し

## 「患者相談室」でお悩みうかがいます

診療上のさまざまな不安や悩みを「患者相談室」の担当職員と一緒に考え、対応させていただきます。相談は、保健師、社会福祉士、事務職員等が対応します。相談ご希望の方は、玄関ホール1階受付にお申し出ください。

### ●ご相談の内容

- 診察など医療の相談
- 医療費等の相談
- 入院生活の不安・悩み
- 退院後の生活のこと
- 介護や保険サービス制度等の利用のこと
- 医療に関する苦情等

### ●相談時間

月～金曜の9:00～17:00



## 救急室からのお願い

急な不調などで当院の救急外来に来られる方へお願いです。

救急車以外の方法で来院される時は、あらかじめ、できる限り当院の救急室へ症状などをご連絡ください。来院された際に、症状に応じた適切な処置を速やかに行うことができるよう、少しでも準備を整えるためです。

ご理解・ご協力をお願いします。



# 外来各科診察担当医表

(平成28年1月7日)

診察室	診療科	月	火	水	木	金	
11	総合診療科	横井大祐 助教(副医長)	高田博輝 助教(医長)	高木智久 准教授(医長)	石野秀岳 講師(医長)	横井大祐 助教(副医長)	
12	呼吸器内科	嶋本貴之 助教(副医長)	大月亮三 助教(医長)	大月亮三 助教(医長)	岩崎吉伸 教授 岩崎吉伸 教授 禁煙外来(第1,3 14時~16時)	大月亮三 助教(医長)	
13	消化器内科	1診	橋本光 医師	福井勇人 助教(医師) (午前 予約)	西村健 助教(副医長) 高木智久 准教授(医長) (午後 予約)	福居顕文 助教(副医長)	稲田裕 助教(副医長)
		2診		西村健 助教(副医長)		堅田和弘 講師(医長)	
14	循環器内科	谷口琢也 助教(副医長)	宮川浩太郎 助教(副医長)	高田博輝 助教(医長)	有吉真 助教(副医長)	入江大介 助教(副医長)	
15	神経内科	山田丈弘 助教(医長)		(第1,3 午後) 中川正法 教授(病院長)		山田丈弘 助教(医長)	中川正法 教授(病院長)
		中川正法 教授(病院長) (第3午前 もの忘れ外来)(予約)		中川正法 教授(病院長) (もの忘れ外来)(予約)			
26	精神科	大矢希 助教(医師)	上村宏 准教授(医長)	上村宏 准教授(医長)	上村宏 准教授(医長)	大矢希 助教(医師)	
23	小児科	浅井大介 助教(副医長)	吉田秀樹 助教(副医長)	小川弘 講師(医長)	1診 松井史裕 助教(医長) 2診(第1,3 5午前)(予約) 柴原康通 講師	小川弘 講師(医長)	
18	外科	1診	伊藤博士 助教(副医長)	中村憲司 講師(医長) (乳腺・新患)	當麻敦史 講師(医長)	中村憲司 講師(医長)	落合登志哉 准教授(副病院長)
		2診	渡邊信之 助教(副医長)	満田雅人 助教(医師)	山下英次郎 助教(医師)		(第1,3) 増田慎介 医師 (第2,4) 常盤和明 特任教授
22	整形外科	1診	(第1午前) 齊藤正純 助教(副医長) (第2,5 午前) 吉田隆司 講師(医長) (第3午前) 城戸優充 助教(副医長) (第4午前) 細井邦彦 助教(副医長) (第2,4 午後) 吉岡直樹 医師	齊藤正純 助教(副医長)	城戸優充 助教(副医長)	吉田隆司 講師(医長)	細井邦彦 助教(副医長)
		2診	岡田直也 医師			(午前) 岡田直也 医師	
17	脳神経外科		山中龍也 教授(隔週) 関本達之 特任教授(隔週)	山中龍也 教授(隔週) 関本達之 特任教授(隔週)	谷山市太 医師	井上靖夫 医師	
19	眼科	1診	加藤雄人 助教(副医長)	糸井素啓 助教(医師)	(午前) 畑中宏樹 助教(医長) (午後) 加藤雄人 助教(副医長)	畑中宏樹 助教(医長)	加藤雄人 助教(副医長)
		2診	大槻陽平 助教(医師)		大槻陽平 助教(医師)	糸井素啓 助教(医師)	
20	産婦人科	辻哲朗 助教(医長)	沖村浩之 助教(副医長)	青山幸平 助教(医師)	(第1,3,5) 沖村浩之 助教(副医長) (第2,4) 青山幸平 助教(医師)	野口敏史 准教授(副病院長)	
24	泌尿器科	多賀英人 助教(医師)	問山大輔 助教(医長)	問山大輔 助教(医長)	多賀英人 助教(医師)	問山大輔 助教(医長)	
25	耳鼻咽喉科	1診	信原健二 助教(医長)	信原健二 助教(医長)	大江雅代 医師	信原健二 助教(医長)	齋藤敦志 助教(副医長)
		2診		齋藤敦志 助教(副医長)		齋藤敦志 助教(副医長)	
21	ペインクリニック		(第2,4) 伊吹京秀 講師				
16	皮膚科	小森敏史 助教(医長)	小森敏史 助教(医長)	小森敏史 助教(医長)		小森敏史 助教(医長)	

- 受付時間 ● 再診(予約のある方) 午前8時から受付開始 ● 初診・再診(予約のない方) 午前8時30分~11時
- 閉診日 土・日曜日、祝日及び年末年始(12月29日から1月3日) 【急患は、時間外でも診察】

## 医師異動情報

転出 (平成27年10月31日)			転入 (平成27年11月1日)		
診療科名	職名	氏名	診療科名	職名	氏名
麻酔科	助教(医師)	たけした しゅう すけ 竹下 秀祐	麻酔科	助教(医師)	たつの あり さ 辰野 有沙

# 職員募集中!

当センターでは現在、期限付職員(看護師、臨床検査技師)、嘱託職員(調理師)を募集しています。

条件等についてはお気軽にお問い合わせください。

【問合せ先】 京都府立医科大学附属北部医療センター 庶務課

☎0772-46-3371(代表)



【発行】 京都府立医科大学附属北部医療センター (与謝の海病院) 【問合せ先】 庶務課  
TEL/FAX 0772-46-3371(代表) ホームページ <http://nmc.kpu-m.ac.jp/>